

1 研究主題

心豊かでたくましい児童・生徒を育てる
— 他者とともによりよく生きる —

2 はじめに

平成29年に告示された新学習指導要領では、道徳の時間を「特別の教科 道徳」として新たに位置づけられた。多様な感じ方や考え方に接する中で、児童が道徳的価値を自分との関わりで捉え、自らの将来に進んで生かそうとする姿勢がもてるような主体的な学習にすることが求められている。それを受けて、本研究会では、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、「心豊かでたくましい児童・生徒」を育成していきたいと考えている。

3 研究経過

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、部員が集まっていた教育研究活動が実施できなかった。

4 研究の概要

昨年度に引き続き、「心豊かでたくましい児童・生徒を育てる — 他者とともによりよく生きる —」をテーマに、各部員が実践・研究を進めた。

5 今後の課題

今年度は、教育研究会を開催できなかった。次年度も、現在の新型コロナウイルスの感染状況を考えると、昨年度までのように集まって実践報告をすることが難しいと考えられる。そうした状況の中でも「心豊かでたくましい児童・生徒を育てる」という研究テーマをもとに、各部員が実践・研究を進められるようにしていきたい。そのために、教育研究会が開催できない状況であったとしても、「どんな実践をしたか、その結果どんな道徳的価値が高まったか」などを共有できるようにしていきたいと思う。

道徳科の目標は「よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う」ことである。自立した人間として、他者と共によりよく生きるための人格を形成する上で、道徳は要となる教科である。児童の道徳的価値を効果的に高める方法を試行錯誤しながら実践し、よりよい授業づくりを模索していきたいと思う。